神奈川新聞　平成21年5月14日(木)【23面】

かわさき商工人 ▷17◁

顧客の希望 商品に

(株)グリーンテクノ 社長 田中 實さん(61)

グリーンテクノ社は、小型高電圧電源による静電気を利用した装置、例えば静電植毛装置、静電選別装置、火花放電装置などを開発・製造。ホームページで事業展開し、受注・販売をする企業だ。

田中社長は、中学卒業後、十五歳で電気関係の企業に就職。「勉強が苦手だったけど、機械いじりが好きだったから」と当時を回顧する。しかし、就職して、勉強の必要性を感じ、会社の理解の下、高校で勉学に励むことになった。昼は仕事で実践、夜は座学で理論を学んだ。

高校卒業後、さらに幅広い技術を学ぶため長期技術者研修に一年間参加。このころ、同じ企業に勤めていた先輩の誘いで退社。先輩を含め八人による起業に参加した。後に大手メーカーに出向することになり、設計の業務に携わった。出向当時、板金技術の必要を強く感じ、一時期、板金会社に修業に出たりもした。

「静電気の分野には幅広い用途がある」と語る田中實社長

十五～三十歳の間は、機械の取り扱いから特殊な溶接、設計やデザインなど多種多様な技術・知識を学んだ研修期間だった。四十四歳の時に周りからの後押しもあり、社長職に就く。田中社長が経営全体を行うようになって十六年間赤字を出したことがなく、金融機関からの信頼も厚いのが自慢だ。

「小さな企業が大企業と同じような事をしても勝ち目はない。何が他と差別化したい。そのためにも、お客さまの『つぶやき』を聞き調査したり、自分で新しいアイデアなど思いついたら忘れないようにいつも手元にメモ帳を置き、新製品のイメージなどを書き込む」。メモ帳はそうしたアイデアやスケッチであふれている。

今後の展開を尋ねると、「静電気の分野には幅広い用途がある。食品粉や微粉末の均一塗布、プラスチックや食品中の異物選別などで、産学連携を進めながらレベルアップを図り、環境に配慮。顧客の希望をかなえる商品を開発し、社員と一緒に豊かな未来づくりを行っていきたい」と熱く語った。

（川崎商工会議所企画広報部　白土　慎）

（株）グリーンテクノ＝川崎市高津区子母口438。☎044（755）2431。1969年12月創業。従業員28人。資本金2600万円。